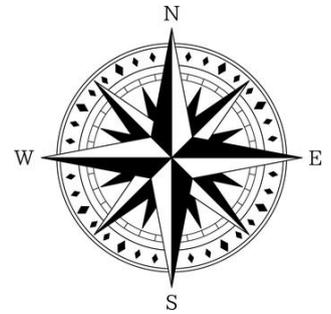


らしんばん 羅針盤



R6.3 進路課だよりNo12 文責:浅羽

<令和5年度 高等部3年生の進路情報>

企業	就労継続A	就労継続B	生活介護	その他
16 人	5 人	7 人	16 人	3 人

今年度の卒業生の進路先になります。進路決定までには、高等部で1年生1回、2年生2回、3年生2回の計5回の職場実習を行いました。5回で進路が決まっていなかった方は、追加実習をして卒業後の進路先を決定しました。

進路決定に向けては、職場実習だけでなく、それまでの12年間の学校生活が基礎となり、進路につながっていると考えます。また、学校のキャリア教育は、進路先を決めることだけが目的ではありません。大切なのは卒業後、地域社会で充実した日々や豊かな生活を過ごすことができるための基盤づくりを支援していくことだと考えています。

～春休みの時間を活用して～

① 余暇活動の充実を



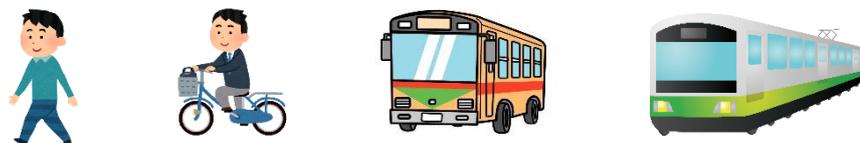
企業や就労継続支援A型・B型、生活介護、どの進路先でも休憩時間があります。特に、生活介護の福祉サービス利用を考えているご家庭は、そのときに静かに自分の時間を過ごすことができることは実習の中でも問われるポイントです。余暇活動を1つだけではなく、2つ、3つと複数持っているといいです。先日、高等部の職場実習の評価で、「昼休みに出歩かずに自分の席で落ち着いて活動できると良い。」という評価を事業所からもらいました。

今現在、家ではiPadや携帯などの機器を使うお子様が多いですが、iPad機器の持ち込みができない事業所もあります。そのため、小学部の段階から塗り絵やパズル、本を読むなどiPad以外の余暇活動にたくさん触れておくことが大切となります。

② 御家庭で手伝いなどの役割を

御家庭でお子様は何か手伝いをしていますか。箸を並べる、くつを並べる、風呂を洗うなどたくさんのお手伝いがあると思います。どんな手伝いでもいいので、お子様に役割を与え、相手のために役に立つことの喜びを経験しておくことが卒業後の働く意義の一つにつながっていきます。

③ 移動手段を増やす



企業、就労継続支援A型、B型事業所を目指しているお子様がいらっしゃるご家庭は、一人で移動できることも進路を決める上で重要なポイントとなります。徒歩や自転車、公共交通機関の利用など移動手段が多ければ、多いほど就職できるエリアが広がります。早い段階から、自転車や公共交通機関を利用する経験を増やしておくことが、高等部卒業後の就労に向けて役立ちます。

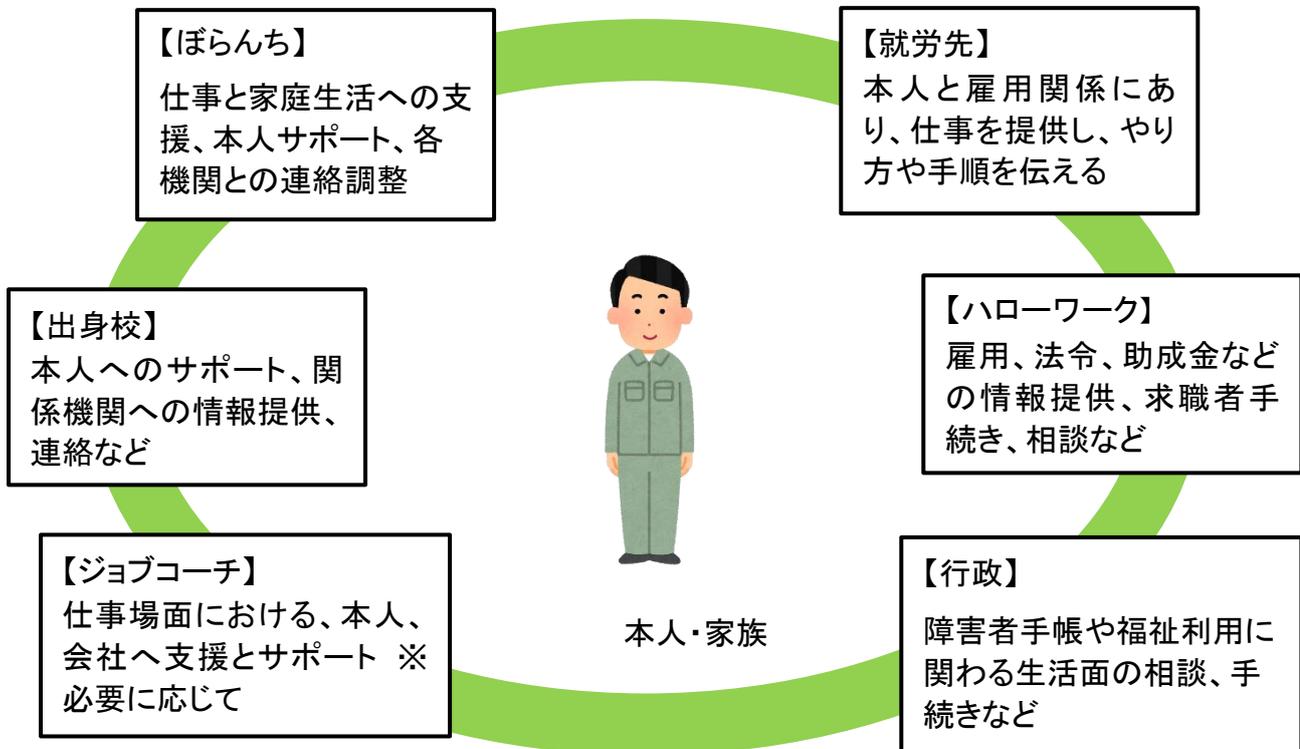
ちょっと知っ得（一般企業就労後が心配）

企業就労が決まった方は高等部卒業後、障害者就業・生活支援センター（ぼらんち）に登録すると、就労に関することや日常生活上の支援を必要とする際に、窓口での相談や職場・家庭訪問などを支援します。

◇生活面での支援

生活習慣の形成、健康管理、金銭管理などの日常生活の自己管理に関する助言、関係機関との連絡調整。

<就労にあたっての支援体制図及び役割>



～進路先に関するお知らせ～

静岡駅駅南（徒歩1分）に就労移行支援事業所「ビレッジサークル」が開所しました。飲食・接客・サービス業を目指す専門コースがあり、商業施設で働く訓練をしています。

特徴

①接客強化特別訓練	接客マナーや言葉遣い等サービス業に必要な訓練
②実際の店舗での訓練	接客、キッチン業務を実施
③企業での体験実習	自信がいたら体験実習へ

◎下記の日程で職業体験を実施するそうです。各家庭で申し込みをお願いします。

その際、担任にもお知らせください。

日時：3月26日（火）～29日（金）14:00～15:00

内容：カフェの仕事を体験

対象者：高等部1，2年生

※切日：3月22日（金）

連絡先：TEL：054-204-3399

MAIL：villagecircle2023@gmail.com

※メールでの申し込みの際、件名に「プログラム体験申し込み」と入力をお願いします。

就労移行支援事業所とは、障害のある方の一般企業などへの就職をサポートする通過型の福祉サービスです。最大で2年の利用が可能です。

今年度も羅針盤を御愛読いただき、ありがとうございました。来年度も本校の教育活動に御協力よろしくをお願いします。